

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般 - 08

学校名・団体名	日立市立東小沢小学校
HPアドレス	http://www.city.hitachi.lg.jp/higasiozawa-e/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	新たな伝統芸能の創作を通じた郷土愛の育成
<p>〈活動・研究の意義, 目的〉</p> <p>本校は、児童数 35 名の小規模校で、久慈川に沿った田園地帯に位置する。地域との連携・協力のもと、地域の特色を生かした様々な体験活動を通して子ども達の学びが支えられ、今年、創立 100 周年を迎える。この節目となる年に、学校・家庭・地域が思いを一つにした新たな伝統文化「創作太鼓」を誕生させようと取り組んでいくこととなった。</p> <p>子ども達が、豊かな自然に恵まれた地域や本校の歴史・伝統を振り返り、自ら創作した新たな伝統文化（創作太鼓）を地域に発信することで、ふるさとを愛する心や誇りを育みたいと考えた。また、この伝統文化の主体を学校から地域に移行させ、継承していくシステムを保護者や地域住民とともに構築していくことで、「地域と共にある学校」の一層の推進につながると考えた。</p> <p>○地域人材、地域文化を生かした活動を通して、思いやりや郷土を愛する心の育成を図り、自己肯定感、自己有用感を高める。</p> <p>○地域環境を生かした体験的な活動を通して、言語活動の充実やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、思考力・表現力を高める。</p> <p>○学校と地域とが目標や意識を共有し、一体となって子ども達を育む「地域とともにある学校」を推進していく。</p>	

1 新たな伝統文化「創作太鼓」について

東小沢小創立 100 周年を記念し、地域や本校の特色ある教育活動を生かした、オリジナルな創作和太鼓を創り、全児童による演奏や保存会の立ち上げ等を通して、東小沢の新たな伝統文化として継承していくことになった。

(1) 曲目『花信風』の誕生

作調にあたっては、民族歌舞団「荒馬座」の協力を得た。東小沢の側を流れる久慈川。その久慈川と共に生きてきた祖先の努力や思い、自然の恵み、人々の営み等を太鼓のリズムや動き、踊りで表現した。また、本校の特色ある教育活動「菜の花プロジェクト」や「お米プロジェクト」等の内容も盛り込んだ。児童・学校、地域の方々とは話し合い、地域を歩き、特色を探りながら創作の作業を進めていった。こうして、世界に一つだけの創作太鼓『花信風』(かしんふう)が完成した。

『花信風』は「菜種月」「恵風」「宝流」の三部から構成されている。「菜種月」では、菜の花や米の収穫を喜ぶ様子や仲間と一生懸命働く農作業の風景を、低学年が踊りと太鼓で楽しく表現する。「恵風」「宝流」では、久慈川の流れと共に生きてきた東小沢の人々や豊かな自然、未来へと続く希望を、高学年が大太鼓・小太鼓・じゃんがらで力強く表現している。



(2) 和太鼓の練習

荒馬座による指導は、4月から始まり、10月の式典までに14回行われた。タイヤを叩く基礎練習から、1学期は主に高学年を中心に、2学期からは低学年も加わり、全体練習へと進んでいった。

創立100周年記念式典での披露を目指して、児童の練習も徐々に気持ちを込めたものになっていき、一生懸命さが伝わってきた。児童の衣装に関しては、保護者が選んでくれた。低学年の衣装は、菜の花をモチーフにした黄色い半纏。高学年の衣装は、久慈川の流れを表した紺色の半纏に決まった。練習の様子等をHPや学校便り等でも紹介することで、地域の方々も見学に来校するなど「創作和太鼓」への期待が高まっていくのを感じた。



(3) 地域に届け！和太鼓の響き ～『花信風』のお披露目～

平成28年10月30日(日)創立100周年記念式典が挙行された。35名の児童は、本校の歴史と伝統を振り返り、地域への感謝と、未来に向けての決意を込めて、創作和太鼓『花信風』の演奏を行った。一人一人が気持ちの込めたパフォーマンスと、力強い太鼓の演奏により、地域の方からもあたたかい感想をたくさんいただいた。児童全員が練習の成果を出し切り、楽しく演奏できたと感想を述べていた。



(4) 伝統文化の継承に向けて

①東小沢小学校創立100周年を記念して創作された和太鼓は、地域の方からのアンケートのもと、東小沢「菜風蓮」(さいふうれん)という名称に決まった。今後、この「菜風蓮」が演奏する『花信風』を保存・継承しながら、地域の活性化に寄与することを目的として、現在、保存会の設立準備が進められている。

②太鼓の練習会

平成29年2月24日の夜に、「第1回和太鼓体験会」を実施した。講師に荒馬座を招聘し、地域の方々や保護者に太鼓に親しんでもらう体験会は、参加者から好評を得ることができた。

2 郷土愛の育成 ～記念式典でのおもてなし～

(1) 「大好き！東小沢」リーフレットの作成

東小沢小学校創立 100 周年記念式典に来て下さる地域の方や卒業生にリーフレットを作って渡すことになった。「大好き！東小沢」と題し、一人一人の児童が、東小沢のよさや自分の思いを写真とコメントで表現した。35 名全員の写真と文にふるさと愛の気持ちを込めた。

表紙や挨拶文は 6 年生が考え、児童全員の思いのこもったリーフレットを作成することができた。記念式典の来校者に、感謝の言葉とともにリーフレットを手渡し喜ばれた。また、創作太鼓のポスター・チラシも作成し、『花信風』に込めた思いや願いを伝えることができた。



日上市立 東小沢小学校

結
郷
青

地域と共に
新たな伝統を
未来へ

東小沢太鼓 (仮)
花信風～かしんふう～

長い歴史の中で培われてきた東小沢の自然の恵みや人々の喜び、東小沢に吹き抜ける風は、万物を成長させる恵みの風。そして、八雲川の清流と共に生きてきた祖先の努力と知恵、思いが重なり受け継がれてきたからこそ、「命」があります。この「花信風」は、創立 100 周年の年に誕生した、東小沢の特色を生かした創作太鼓です。「命」を生きた東小沢っ子達が、嬉々然と踊りと太鼓で地域への感謝とふるさと愛を元氣いっぱい表現します。100 年先の未来に向けて、新たな伝統文化の発信です。

創立 100 周年記念事業、平成 27 年度記念誌、東小沢小学校 PTA、公益財団法人ちゅうごうでん教育振興財団 (平成 28 年度) より転載

(2) 記念式典の様子から

式典の案内や会場の掲示物にも、児童が様々に工夫を凝らし、「大好き！東小沢」を表現した。受付や廊下に立って、来場者を会場へ案内したり、創立記念日に段ボールで作ったバースディケーキを飾ったり、来場者に声をかけて説明した。

また、東小沢小のマスコット「東くん」と「沢こちゃん」の着ぐるみを、計画委員の児童が着用し、会場を盛り上げた。児童は来場者に積極的に関わり、笑顔いっぱいの温かいおもてなしで東小沢小学校のよさを伝えていた。



3 成果

創立 100 周年と関連させることで、児童は強い関心とともに創作和太鼓の演奏に意欲的に取り組むことができた。自分達が体験している「菜の花プロジェクト」や「お米プロジェクト」の活動から、身近にある豊かな自然を再発見したり、日頃からお世話になっている地域の方への感謝の気持ち、自分達の母校の良さを伝えようとしたりするなど、一人一人が自分の思いを、和太鼓の演奏や写真・コメント、バースディケーキ、おもてなし等々、様々な形で表現することに興味をもって積極的に活動していた。

記念式典の後に実施した「ふり返りアンケート」の中では、「ふるさと (わたしたちが住んでいる地域) や東小沢小学校が好きですか。」の項目に、児童全員が「とてもそう思う」と回答していた。

これらの活動を通じて、東小沢小 35 名の児童一人一人のよさを発信すると共に、郷土に対する誇りと愛情を高めることができた。また、PTA や地域の理解と協力により、新たな伝統文化を創造することで、学校と地域の絆をより一層強め、地域と共にある学校づくりの推進につながった。